

## 「フレイル高齢者における近隣の建造環境と身体活動の関連」に関する研究のお知らせ

神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科では以下の研究を行います。  
本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間	承認後 ～ 2025年 3月 31日
研究課題	フレイル高齢者における近隣の建造環境と身体活動の関連
研究の概要	<p>目的及び意義：本研究の目的は、地域在住高齢者、特に心身機能が低下している状態のフレイル高齢者における近隣の建造環境と身体活動量の関連を検討することである。本研究で得られた知見は高齢者の身体活動を推進する地域づくりの一助となる可能性がある。</p> <p>対象：山梨県都留市在住の要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者。</p> <p>方法：東京都健康長寿医療センター 介護予防・フレイル予防推進支援センターで実施されている「地域の通いの場参加を促す包括的支援策の効果検証」のうち、2022年と2024年の2時点の横断データを用いて二次分析を実施する。フレイルは自己記入式の基本チェックリスト、近隣のウォーカビリティはウォークスコア®と郵便番号データおよび自己記入式のアンケート、身体活動は International Physical Activity Questionnaire (IPAQ)と三軸加速度計を用いて評価する。共変量には年齢、性、婚姻状況、同居家族、暮らし向き、就労状況、教育年数、主観的健康観、病気、社会的健康、社会活動への参加状況が含まれる。統計解析はロバスト・プレフレイル・フレイルの3つのグループ間の比較をしたのち、ウォークスコアを独立変数、身体活動量を従属変数とした回帰分析によりウォーカビリティと身体活動の関係を検討する。</p>
研究組織	<p>【研究代表者】 ヘルスイノベーション研究科 修士課程 川口 美咲</p> <p>【研究分担者】 ヘルスイノベーション研究科 教授 津野 香奈美 ヘルスイノベーション研究科 教授 成松 宏人 ヘルスイノベーション研究科 講師 根本 裕太</p>
個人情報の取扱い	神奈川県立保健福祉大学の「人を対象とする生命科学・医学系研究における人体から取得された試料及び情報等の提供及び保管に関する手順書」に従ってデータを管理する。

	<p>建造環境の指標である Walk Score®は個人の住所データから算出されるため、データ保管場所である帝京大学大学院公衆衛生学研究科にて研究代表者がWalk Score®を算出し、個人が特定できないようスコアのみを研究代表者のセキュリティ機能付きコンピュータに記録する。その他のデータも同様に、個人が特定できる情報が含まれていない形式に加工された状態で研究代表者のコンピュータに保管する。</p> <p>研究データは本計画書に記載された研究目的に利用し、他の目的には利用しない。分析の際には研究代表者のセキュリティ機能付きコンピュータに、パスワードロックをかけた情報を保存して持ち出す。</p>
その他	

対象となる方で、研究の内容や、ご自身の検査結果などの研究への使用に関して、より詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願いいたします。

〔問い合わせ先〕

研究代表者：ヘルスイノベーション研究科 修士課程2年 川口美咲  
TEL：044-589-8100（代表）